

令和5年度 第5回 京田辺市社会教育委員会
会議要旨

1 開会

2 委員長あいさつ

3 議事

(1) 令和5年度社会教育委員活動実績及び令和6年度社会教育委員活動計画（案）について

事務局から報告を行った。

(2) 令和5年度社会教育事業実績及び令和6年度社会教育事業計画（案）について
事務局から報告を行った。

（委員） コロナが5類になって参加者数はどうなったのか。

（事務局） 参加者が増えた事業もある。各事業で定員を増やす等行っているが、コロナ前の水準には戻っていない事業もある。

(3) 活動報告

「山城地方社会教育委員連絡協議会研修会」及び「第3回京田辺市複合型公共施設整備基本構想検討懇話会」について、参加委員が報告を行った。

【複合型公共施設整備基本構想についての意見】

・駐車場が足りるのか。色々な人が施設を利用すると足りないのではないのか。駅前で利点があるというが、駐車場不足である。

・民間に任せると素晴らしいものができるがお金が必要。予算をきちんとつけて欲しい。

・施設の内容を知らない市民が多い。パブリックコメントも大事だが、啓発パンフ等を作り、全戸配布する等広く周知することが必要。懇話会の委員が所属の会議で周知し、その内容を会議に出席した委員が所属団体に広めて欲しい。

・理想は良いが、図書館と公民館をくっつけただけで「つなぐ、はぐくむ」ことができるのか。

・市民として使い勝手が良い施設にして欲しい。7～8年後に完成するが、その時までにはどんな意見が出るのか。取り入れてもらえるのか。

(3) 京田辺市の社会教育について

令和4年度からの協議内容について事務局が説明し、来期も引き続き京田辺市の社会教育について協議していくこと報告した。

【各委員からの意見】

・コーディネーターについて、生涯学習推進協力員制度を進める中で、課題があれば軌道修正を行っていききたい。

・同志社との連携は、同志社の学生、市民にとって得るものがあれば良い。

・学生は、授業だけが学びではなく社会の中でかかわっていくことも学びになる。大学卒業後、同志社だけでなく、京田辺も懐かしかったなと思って欲しい。

・学校運営協議会と地域学校協働本部の設置は周辺地域に比べ京田辺市は遅れている。これは、学校教育の根幹にかかわる問題だ。

・他市では学校運営協議会や地域学校協働本部が設置されているのに京田辺市はこのままで良いのか。教育委員会で考えて欲しい。

・教育委員会でも生涯学習部門は別とされている。教育委員や学校の先生と社会教育委員とで懇談の場を持ち、意見交換を行いたい。

・放課後子ども教室を開催しても校長が見に来ない。学校教育の一環だと思って欲しい。

4 その他
次回会議について

5 閉会 副委員長あいさつ